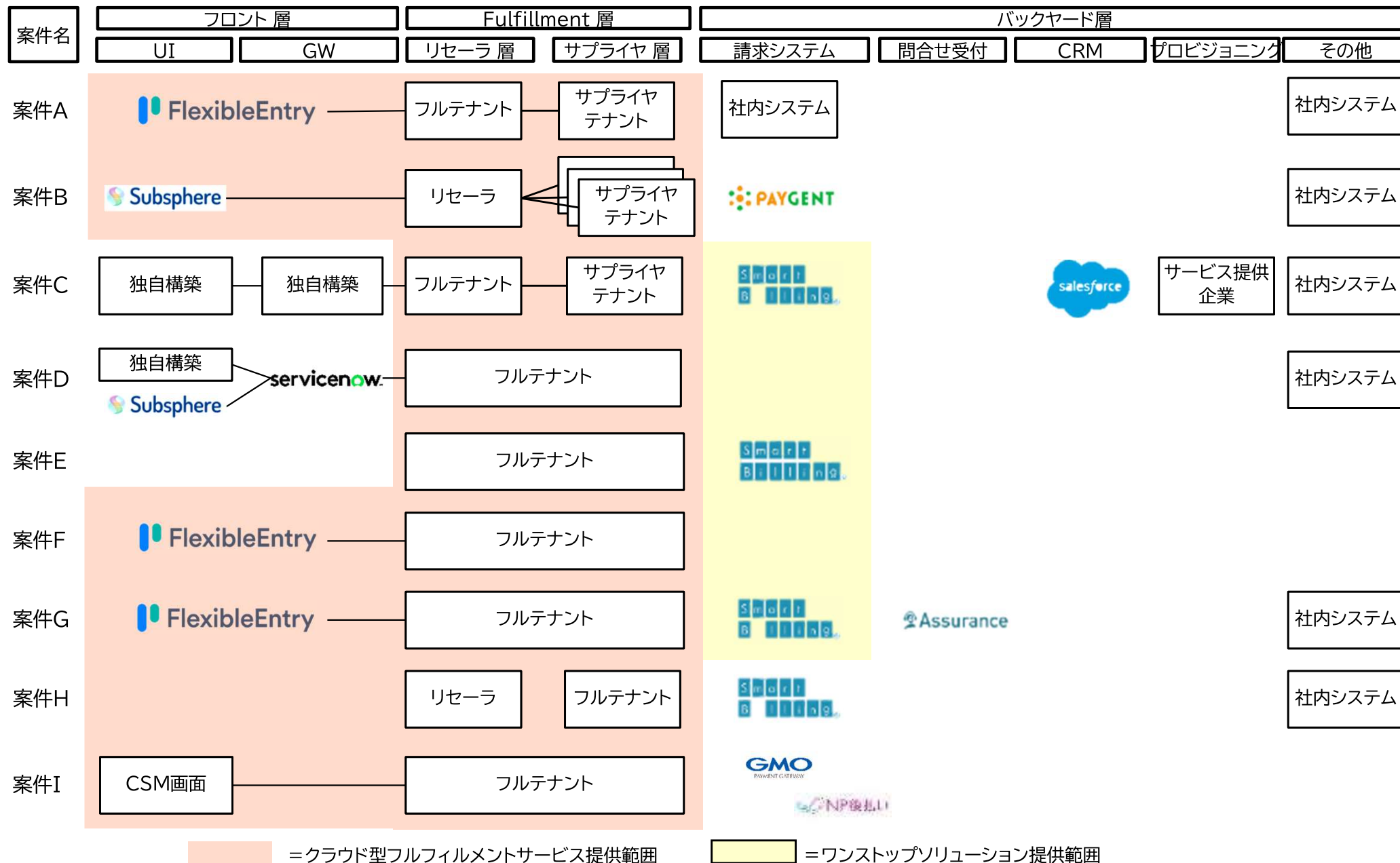


他パッケージやSaaSとの連携事例

クラウド型フルフィルメントサービス利用にあたって他社パッケージ、SaaSの連携事例を下記に示す。



SmartBilling連携機能のメリット

SmartBilling連携のワンストップソリューション(以下、SmaB連携)を利用することで実現できる機能を紹介します。

機能	Fulfillment/SmartBilling ワンストップソリューション利用	Fulfillment単独利用	SmartBilling単独利用
商品管理	○	○ (商品に含まれる詳細な注文情報含む)	△ (契約商品情報のみ)
顧客管理	○	○	○
注文管理	○	○	×
契約管理	○	○	○
課金登録	○	○	○
料金計算	○	○	○
請求作成	○	○	○
収納代行	○	×	○
会計	○	×	○
分析	○	○	○
備考	*1～5	-	-

*1:料金計算可能対象が制限され、次ページを参照してください。また、Fulfillmentの請求キャンセル、免税機能等は抑止されます

*2:ワンストップソリューション利用時はSmartBillingからの商品・顧客・契約登録はできず、Fulfillmentからの登録のみに制限され、桁数も制限があります

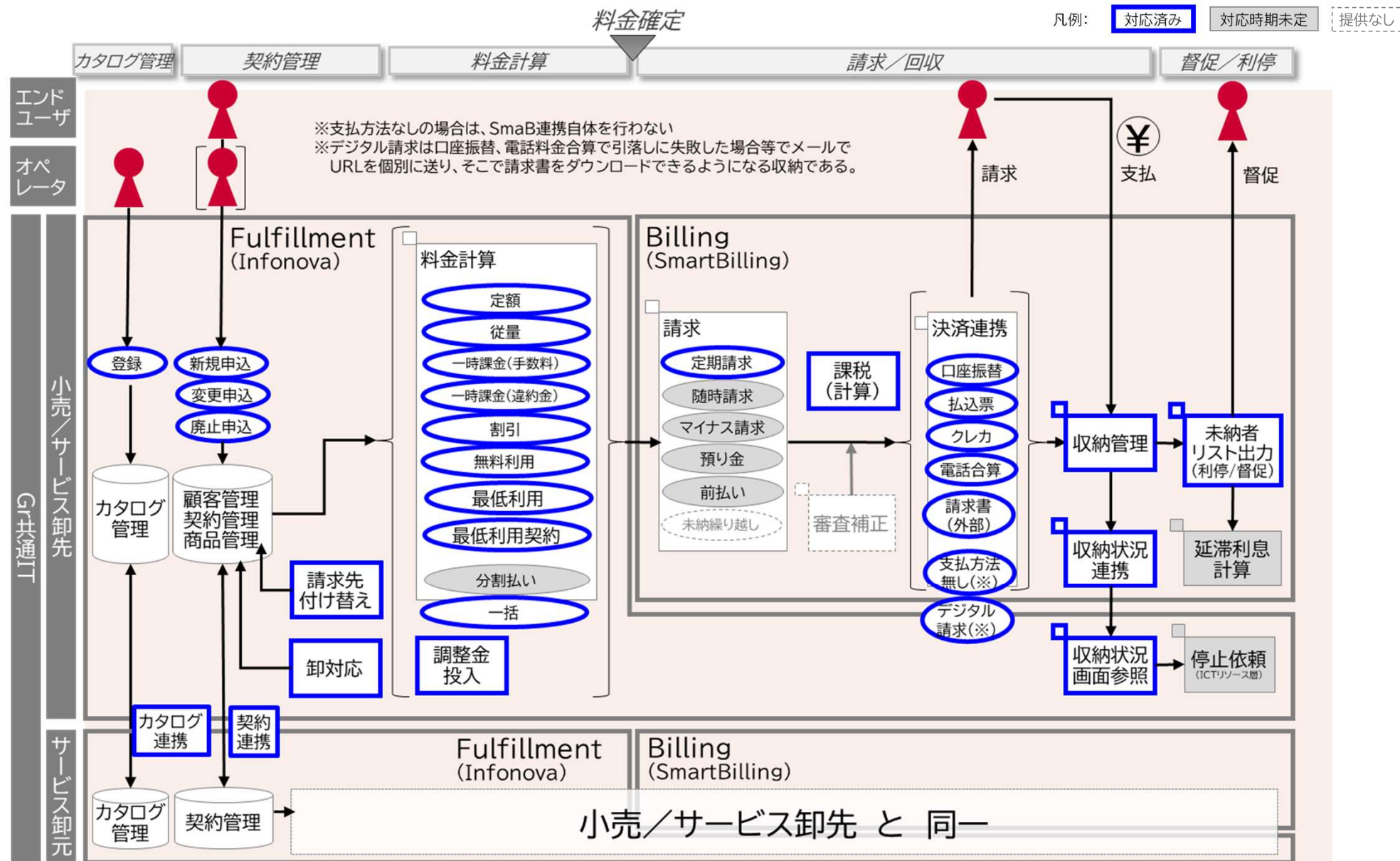
*3:Billingの請求確定日は月に1回へ制限されます

*4:Billingの仮請求書、請求書のPDF作成はできず、CSV出力は一部機能が制限されます

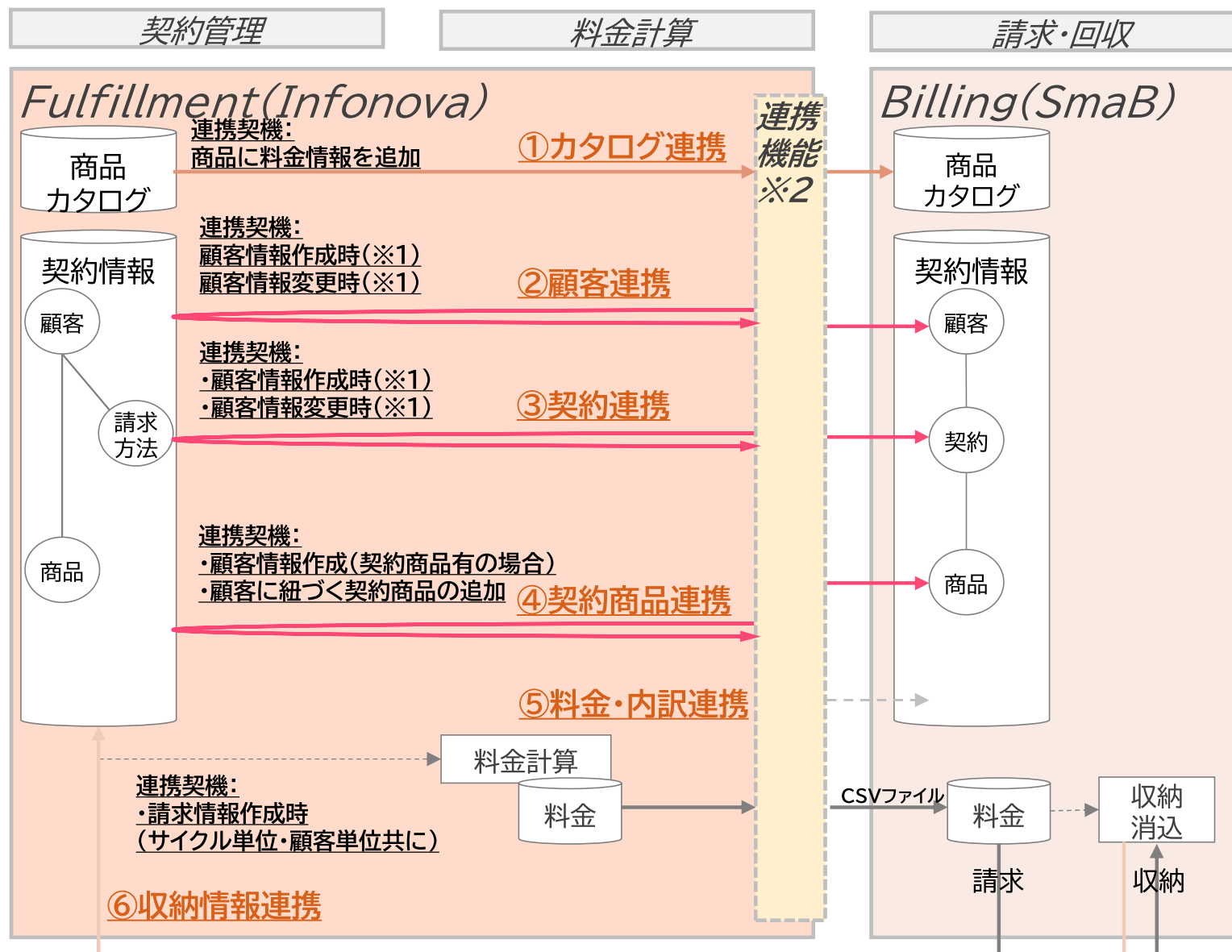
*5:BillingのAPI利用は不可となります

SmartBilling連携機能

SmartBilling連携のワンストップソリューション(以下、SmaB連携)を利用することで実現できる機能を紹介します。



SmartBilling間システム連携イメージ

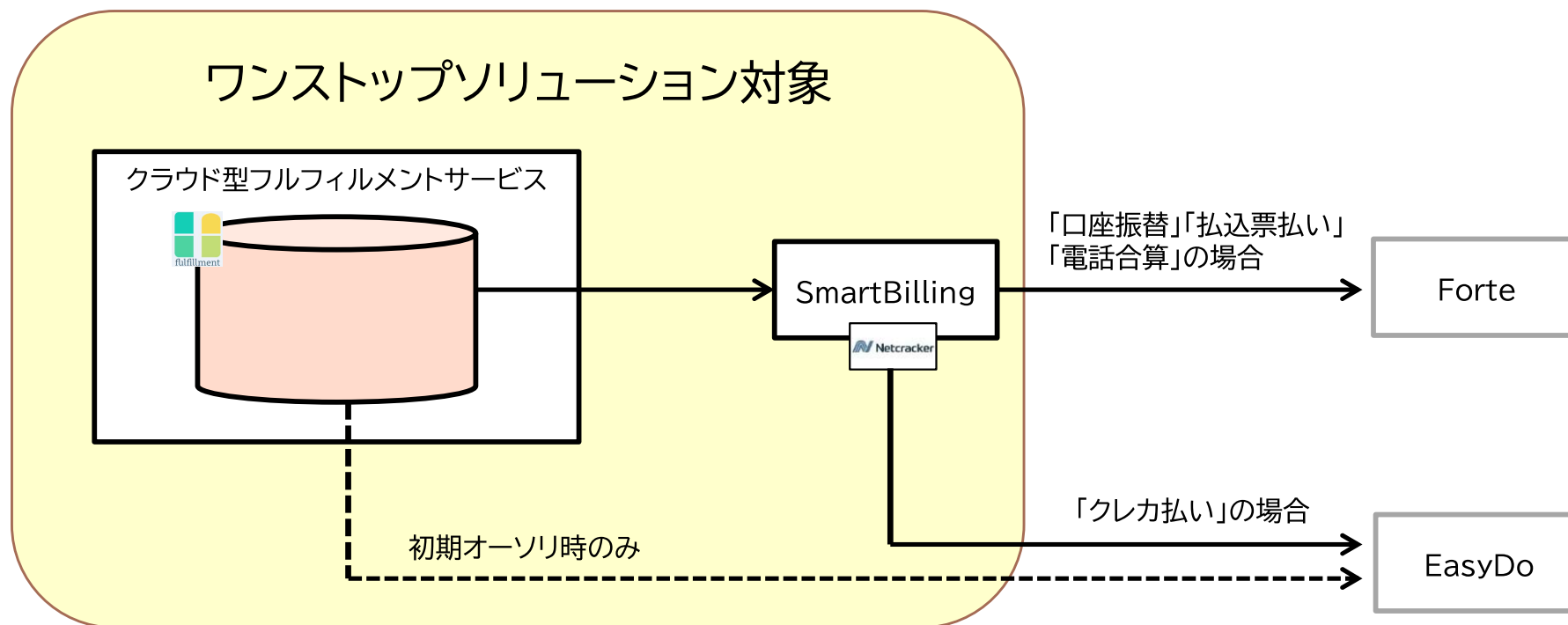


※1: 顧客連携と契約連携で送っているのは、Infonova上では顧客情報として一括りに扱われているものだが、顧客連携では顧客名や住所を、契約連携では請求に関わる情報(口座番号等)を中心に連携している。

※2: 連携機能は情報連携契機でのみ動きます。(そのため、商用の正常性初回確認は商用利用後となります)

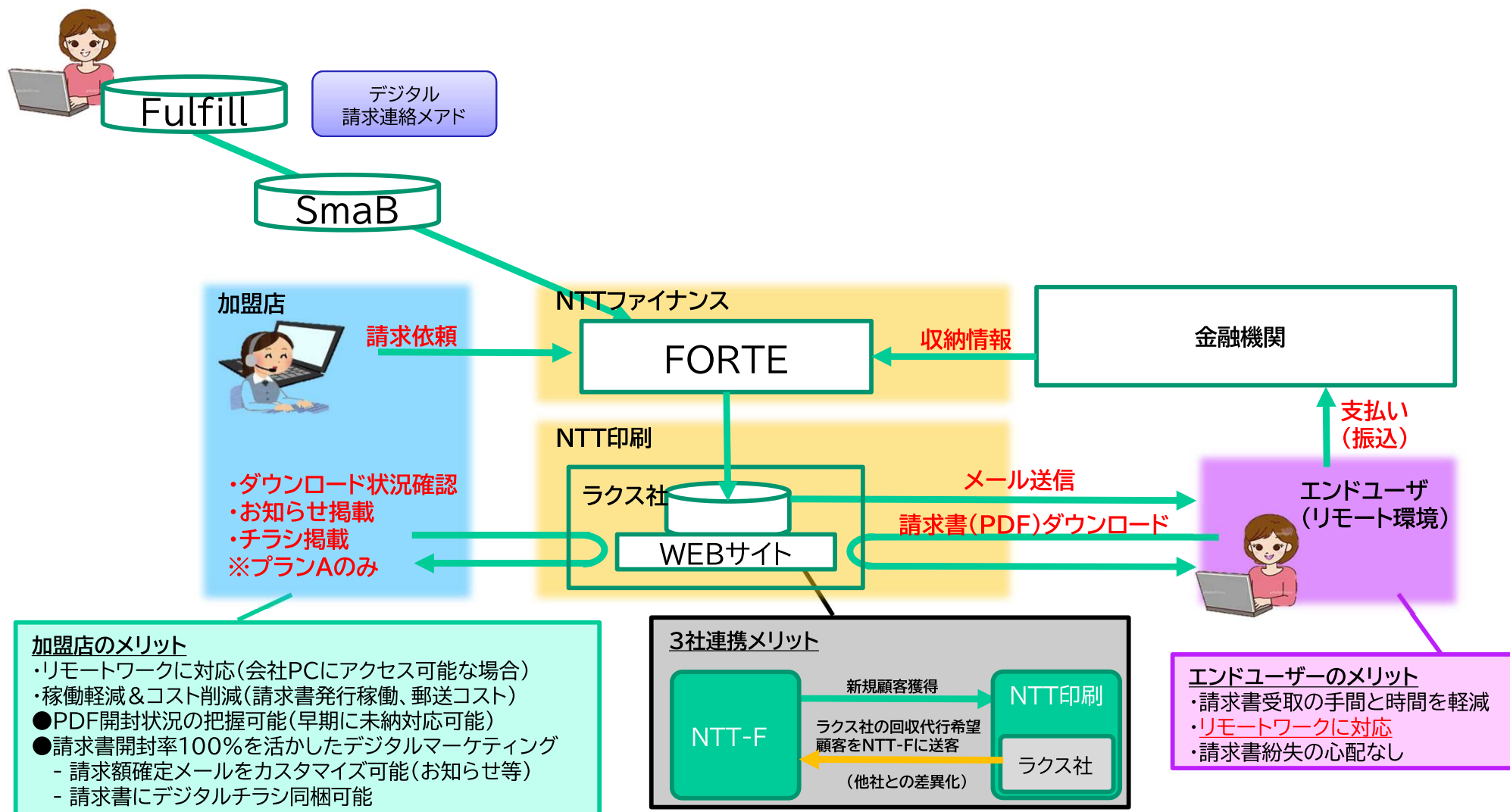
利用にあたっての契約対象

SmartBilling連携の各種システム構成図としては以下の通りです。
ご利用にあたっては各種システムの利用申し込みが必要となります。



デジタル請求

エンドユーザへ請求書(PDFファイル)をダウンロードするためのアドレスが記載されたメールを送信することで、エンドユーザ自身が必要に応じて請求書を取得して頂くことが可能です。



FlexibleEntryの活用について

InfonovaとFlexibleEntryの連携オプションを利用することで、以下の活用事例があります。

パターン		パターン① FE側で顧客やオーダ登録後、 Infonovaへ流通するパターン	パターン② Infonova側で顧客やオーダ登録後、 FEへ流通するパターン	パターン③ ①+②の複合利用
特徴		FlexibleEntryのUI(タブレット画面等)やExcelの申込帳票の取込機能を利用してオーダ受付を実施したい	Infonova側で顧客やオーダ登録後、FlexibleEntryのワークフロー管理機能を利用し、デリバリ業務や他システム連携を実施したい	左記の複合
概要図				
商品管理		Infonova	Infonova	Infonova
顧客登録		FlexibleEntry	Infonova	FlexibleEntry
注文管理	申込	FlexibleEntry→Infonovaへ流通	Infonova→FlexibleEntryへ流通	FlexibleEntry
	処理中	Infonova	FlexibleEntry	FlexibleEntry
	完了	Infonova	FlexibleEntry→Infonovaへ流通	FlexibleEntry→Infonovaへ流通
契約管理		Infonova	Infonova	Infonova
料金計算		Infonova	Infonova	Infonova
請求作成		Infonova	Infonova	Infonova

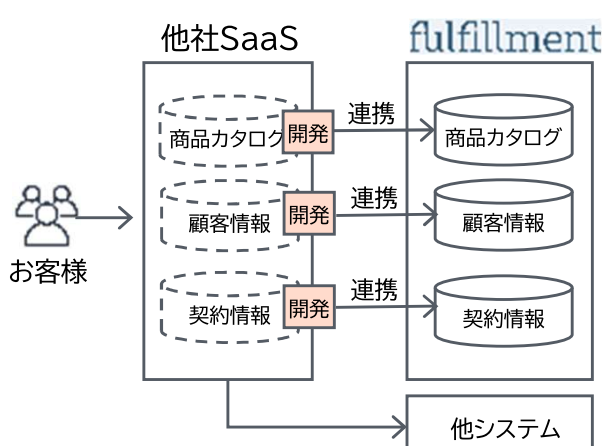
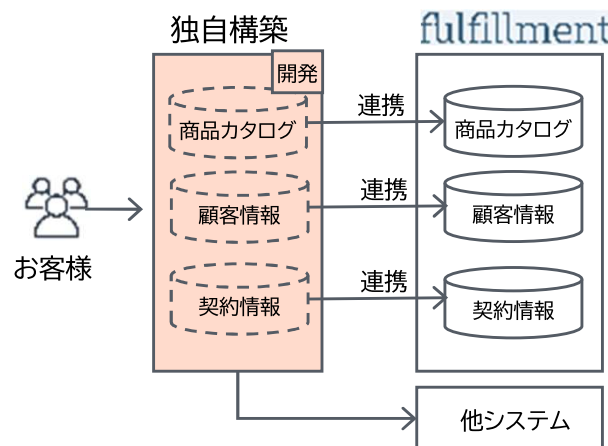
=開発が必要な箇所となり、別途追加費用が掛かります

UIの選択について

顧客情報や注文、契約照会をするためのUIについては大きく以下のように分類され、用途に合ったパッケージ、SaaSの選択、または独自に構築することが求められます。

UIを利用する想定ユーザ	求められる機能
一般公開エンドユーザ	①インターネットに広く公開し、匿名状態で商品が見える ②商品購入時に注文者の情報等を記入し注文完了する ③注文完了後は自分の契約の照会、料金請求情報の照会などができる、 また、契約の変更や解約などができる
社内利用等限られたユーザ	①事前に作成したユーザ情報を元にログインする ②商品購入時には注文者の情報等を代理記入し注文完了する ③注文完了後は管理しているお客様全ての契約の照会、料金請求情報の 照会などができる。また、契約の変更や解約などができる

一般公開ユーザ向けUIの比較

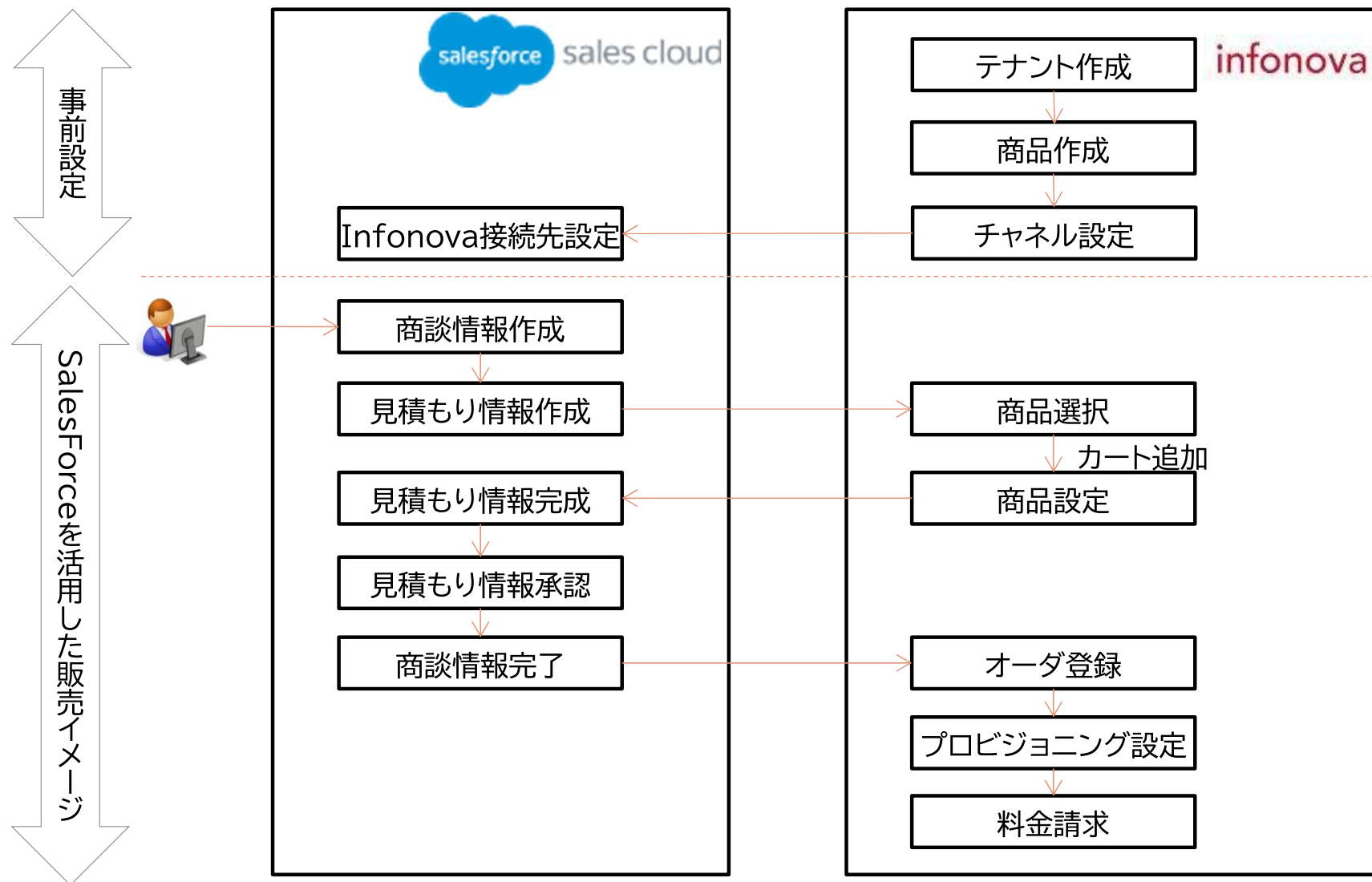
案		他社SaaSの利用	独自構築
構成			
特徴	提供速度・費用	・安価に早く提供することが可能 ・API連携にあたってはカスタマイズ・開発が必要となるため、その分のコストを見込む必要がある	・1から構築するため提供速度は遅く、高価となる
	カスタマイズ	・ページの動作、表示変更についてはSaaS側の条件に縛られる	・特殊要件への対応がしやすい
	連携	・他のシステムとの連携等はSaaS側の条件により可	・他システムとの連携も自由に可能
	運用	・運用規約ではSaaSの条件に縛られる	・運用規約も自由に可能
実績		あり	あり
利用サービス		Subsphere等	—
備考		API提供にあたってはNDA契約後に提供可能	独自構築の際にFulfillmentと連携前提での見積もりをすることは可能

利用が限られたユーザへのUIの比較

案	CSM画面の利用	FlexibleEntryの利用	他社SaaSの利用
構成	fulfillment 限定利用者 → CSM画面 商品カタログ 顧客情報 契約情報	FlexibleEntry fulfillment 社内利用者 → FlexibleEntry 商品カタログ 設定 連携 顧客情報 設定 連携 契約情報 設定 連携 商品カタログ 顧客情報 契約情報	他社SaaS fulfillment 社内利用者 → 他社SaaS 商品カタログ 開発 連携 顧客情報 開発 連携 契約情報 開発 連携 商品カタログ 顧客情報 契約情報 他システム
特徴	用途	自身の契約情報登録	社内利用としてお客様の情報の代理投入
	提供速度・費用	・CSM画面はFulfillment標準機能の一部であり、追加費用は無く、提供速度も早いです	・FlexibleEntryはクラウド型フルフィルメントサービスのオプション機能であり、追加費用が必要となります。提供速度は早いです
	カスタマイズ	・ページの動作、表示変更について大幅なカスタマイズは不可(カスタマイズには費用が掛かる) また、機能追加は不可	・ページの動作、表示変更について大幅なカスタマイズは不可(カスタマイズには費用が掛かる) また、機能追加は不可
	連携	・他のシステムとの連携等は不可(開発には費用が掛かる)	・他のシステムとの連携等は条件付きで可能(開発には費用が掛かる)
	付加機能	なし	・ワークフロー等の機能や、Excelの申込書を注文書に変更する、タブレットからの注文を可能とするなどの機能があります
	運用	・運用規約ではクラウド型フルフィルメントサービスと同様	・運用規約ではクラウド型フルフィルメントサービスと同様
実績	あり	あり	なし
利用サービス	—	FlexibleEntry	SalesForce等
備考	—	—	API提供にあたってはNDA契約後に提供可能

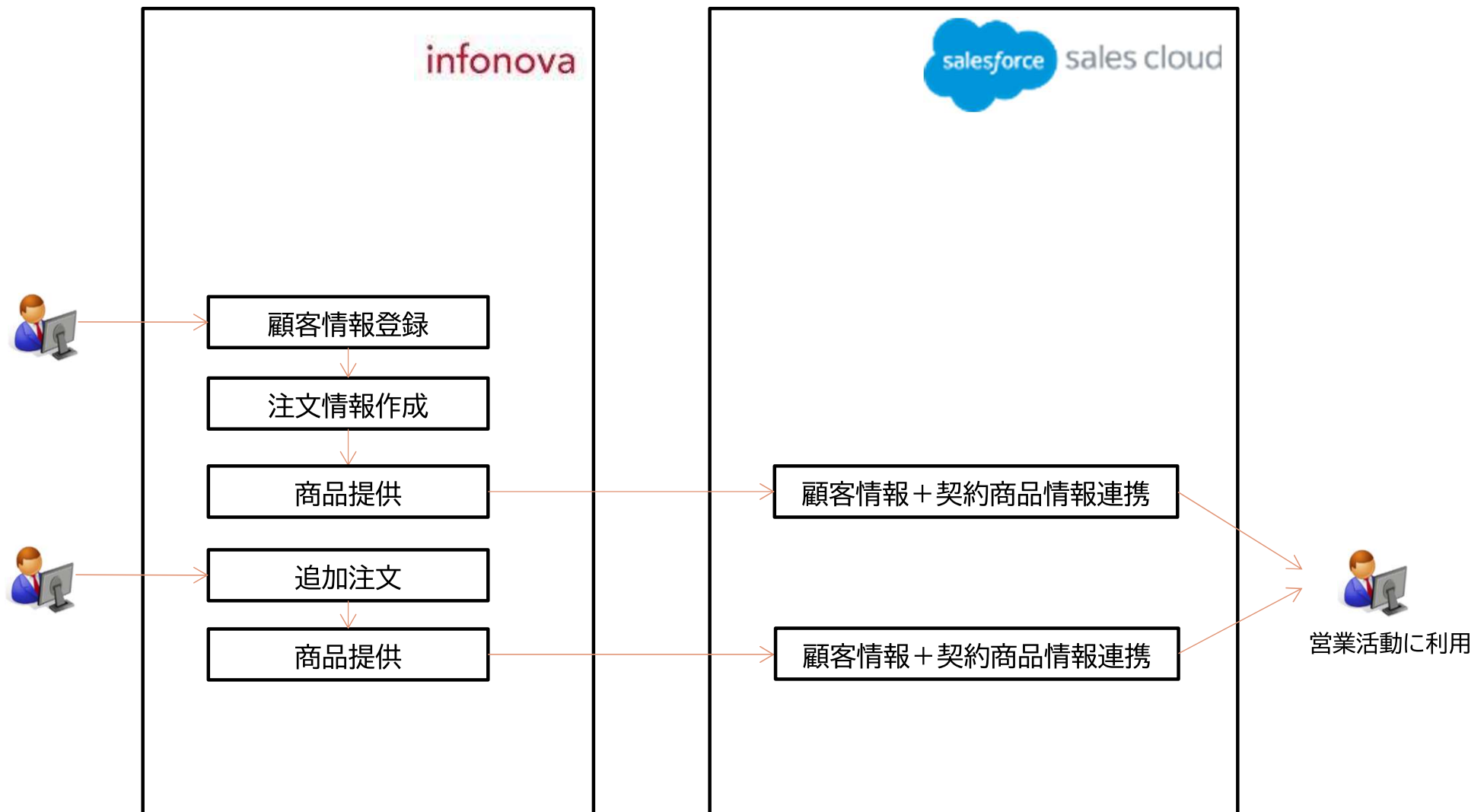
Salesforce利用例(SFA)

SalesForce(SalesCloud)を利用して、Infonovaと連携することが可能です。
SFAとして扱うSalesforceとの連携フロー例を示します。



Salesforce利用例(CRM)

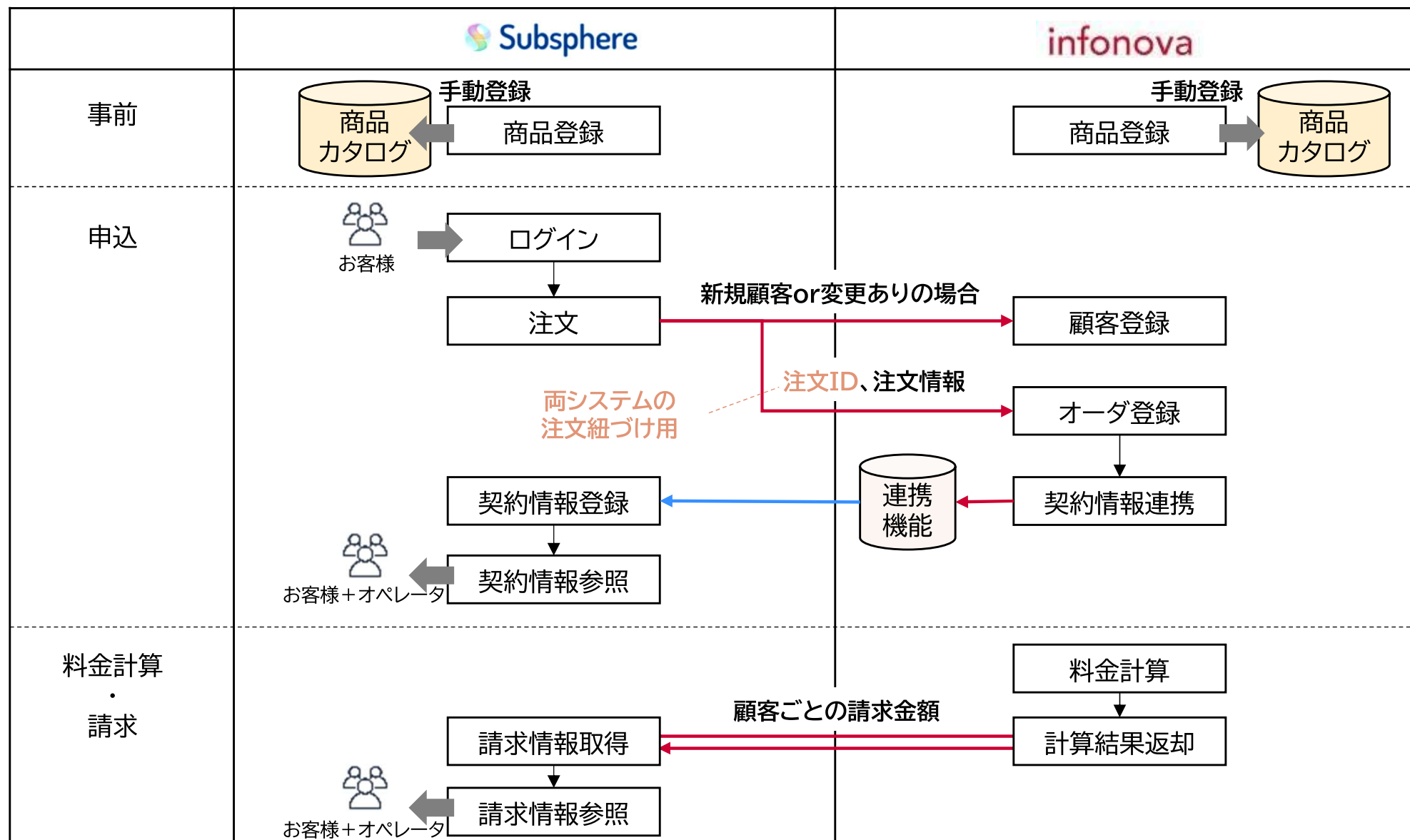
SalesForce(SalesCloud)を利用して、Infonovaから顧客情報や契約情報、注文情報等を連携することで最新情報を常に保持することが可能です。CRMとして扱うSalesforceとの連携フロー例を示します。



Subsphere利用例

Subsphereを利用して、Infonovaと申込登録、契約情報、請求情報を連携することが可能です。
連携イメージを以下に示します。

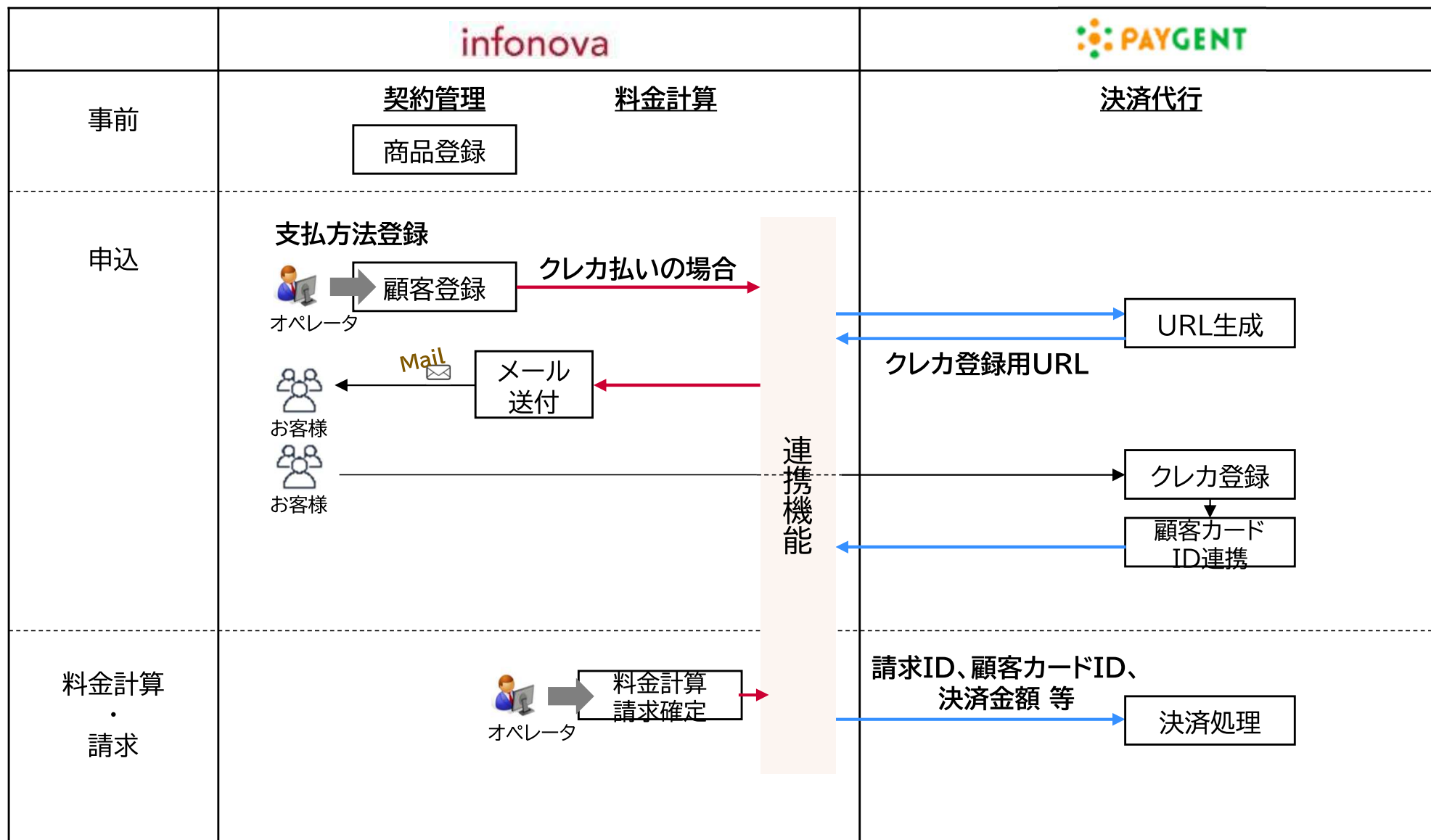
→ :Infonova API → :Subsphere API



Paygent利用例

Paygentを利用して、Infonovaで作成した請求情報を連携することが可能です。
連携イメージを以下に示します。

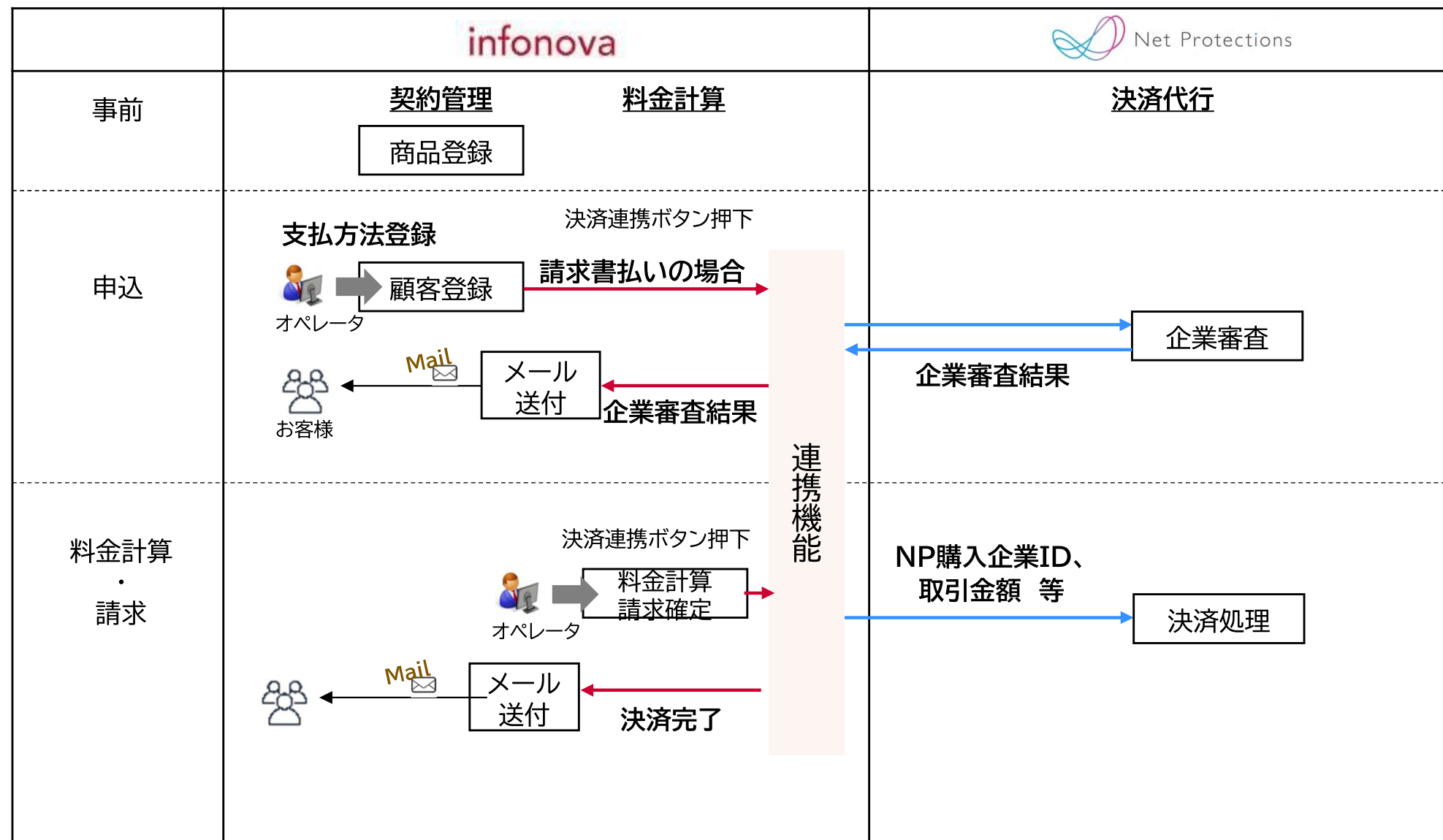
→ : Infonova API → : Paygent API



NP利用例

NPを利用して、Infonovaで作成した請求情報を連携することが可能です。
連携イメージを以下に示します。

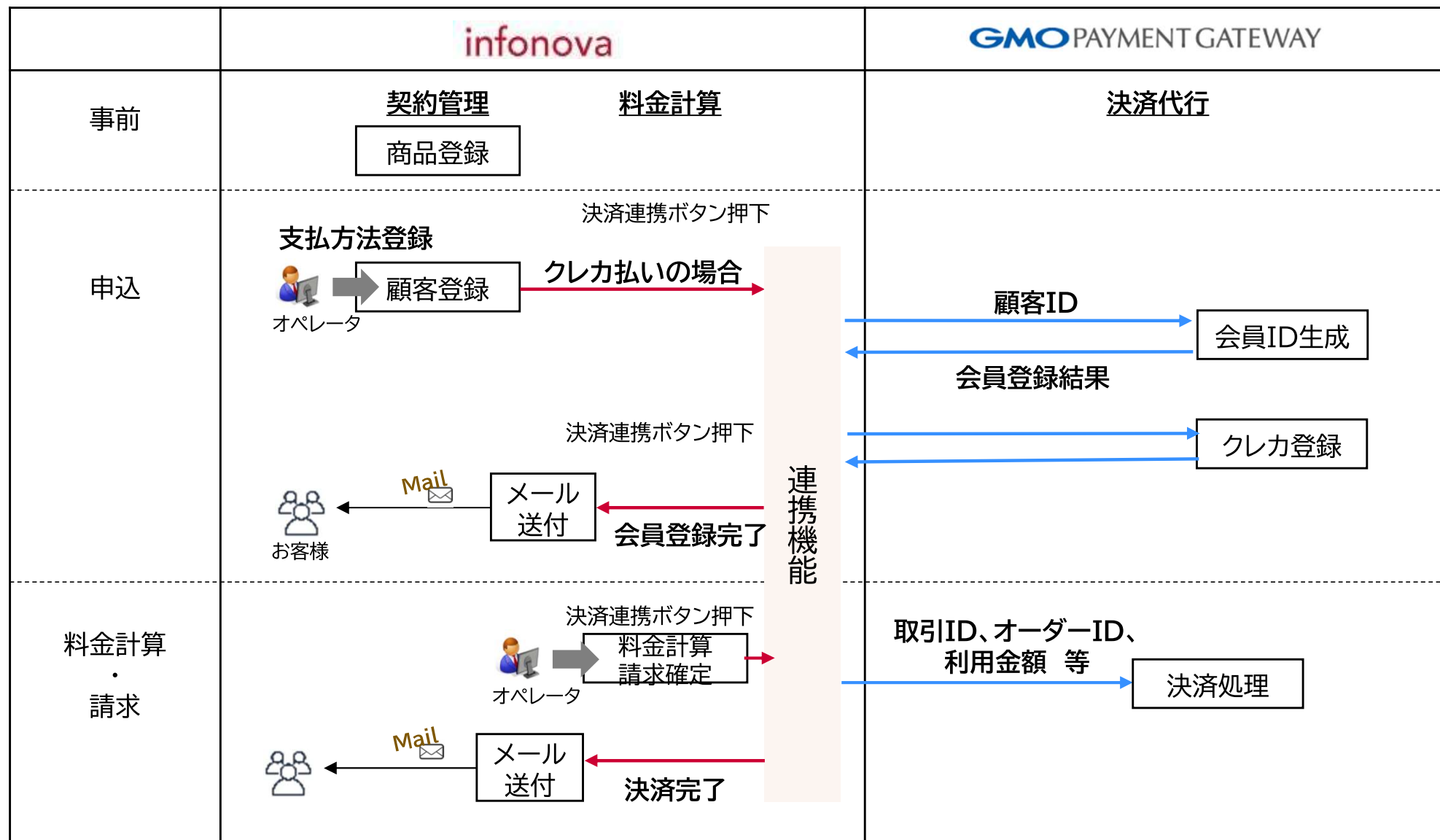
→ :Infonova API → :NP API



GMO利用例

GMOを利用して、Infonovaで作成した請求情報を連携することが可能です。
連携イメージを以下に示します。

→ :Infonova API → :GMO API



Assurance連携利用例

Assuranceとの連携により、申込時のAssuranceサービスIDの自動登録、顧客/契約情報連携を実現しています。

